

**〈手足口病・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について〉**

南部保健所管内では、定点あたりの報告数が、**手足口病は5.00**と、警報レベルを超えています。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は7.67**と、警報レベルを下回っていますが、患者の報告は継続しています。

**・手足口病とは**

口腔粘膜及び手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で幼児を中心に夏季に流行が見られます。感染は、排出されたウイルスが手を介して口に入ることによるもの(経口感染)、せきやくしゃみによるもの(飛沫感染)や接触感染で起こり、潜伏期は3~4日程度です。有効な抗ウイルス剤などはありませんので、手洗いの励行などの予防が重要です。口の中の症状が強くなったときには、水分不足にならないように注意が必要です。特に、乳幼児のいる家庭は十分注意して下さい。

**・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは**

高熱・咽頭痛・嘔吐を主症状とする細菌性の感染症です。熱は3~5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱(しょうこうねつ)」に移行することがあります。排出した細菌が手などを介して口に入ることにより感染します(経口感染)。予防策は、手洗い、うがいの励行が非常に有効です。受診して薬を処方された場合は最後まで飲みきりましょう。

体調に変化を感じた場合は、早めにかかりつけ医や外来対応医療機関を受診してください。

**今後の感染予防・感染拡大防止に向けた注意喚起「4つのお願い」**

**1. 「基本的な感染対策」で感染予防！**

室内の換気(寒くても換気しましょう)、手洗いの励行、咳エチケット、場面に応じたマスク着用など

**2. 「ワクチン接種」で重症化予防！**

高齢者や基礎疾患のある方は、特に接種をおすすめします。

**3. 「体調おかしいな？」は休んで感染の拡大防止！**

少しでも体調に異変を感じたら、ちゅうちょせず休みましょう。コロナは5日間、外出を控え療養を。

**4. 解熱剤等の常備薬を準備！**

体調不良時の療養に備え、早めに準備しておきましょう

南部保健所(0972-22-0562)

**感染症発生動向調査の結果(南部保健所管内)**

《定点報告》

令和6年第25週(6月17日~6月23日)

《全数報告》

	インフルエンザ			C O V I D - 1 9	RS ウ イ ル ス	咽 頭 結 核 膜 熱 ( ブ ル 熱 )	A 群 溶 血 性 レ ン サ 球 菌 咽 頭 炎	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑 ( リ ン ゴ 病 )	突 発 性 発 疹	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎 ( お た ふ く か ぜ )	肺 炎  マ イ コ プ ラ ズ マ	風 疹	麻 疹 ( は し か )	百 日 咳	
	A 型	B 型	不 明																
0歳					0.33			0.33											
1~3歳				0.20	2.67	0.67	1.00	0.67		2.67				1.00					
4~6歳							2.33	0.67		2.33									
7~9歳				0.20			2.00	0.67											
10~14歳				0.80			1.00												
15~19歳				0.20				0.67											
20歳以上				1.60			1.33	1.67											
計				3.00	3.00	0.67	7.67	4.67		5.00				1.00					
70歳以上 (再掲)				0.60															
前週				2.60	0.33	1.00	3.67	4.67	0.33	3.33		0.67	1.00		0.67				

警報レベル ■

注意報レベル ■

※感染症発生動向調査について

○感染症については、原則医師からの報告により全数を把握していますが、インフルエンザなどの特定の疾病については、指定された医療機関(定点)からの報告で発生状況を把握しています。(定点医療機関数 インフルエンザ5箇所、小児科3箇所)(ここにあげた数値は、1定点あたりの平均の患者数となります。)

○警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを指します。注意報レベルは、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことを、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

掲載内容について、不明な点がある場合は、下記へお問い合わせください

大分県南部保健所

電話 0972-22-0562

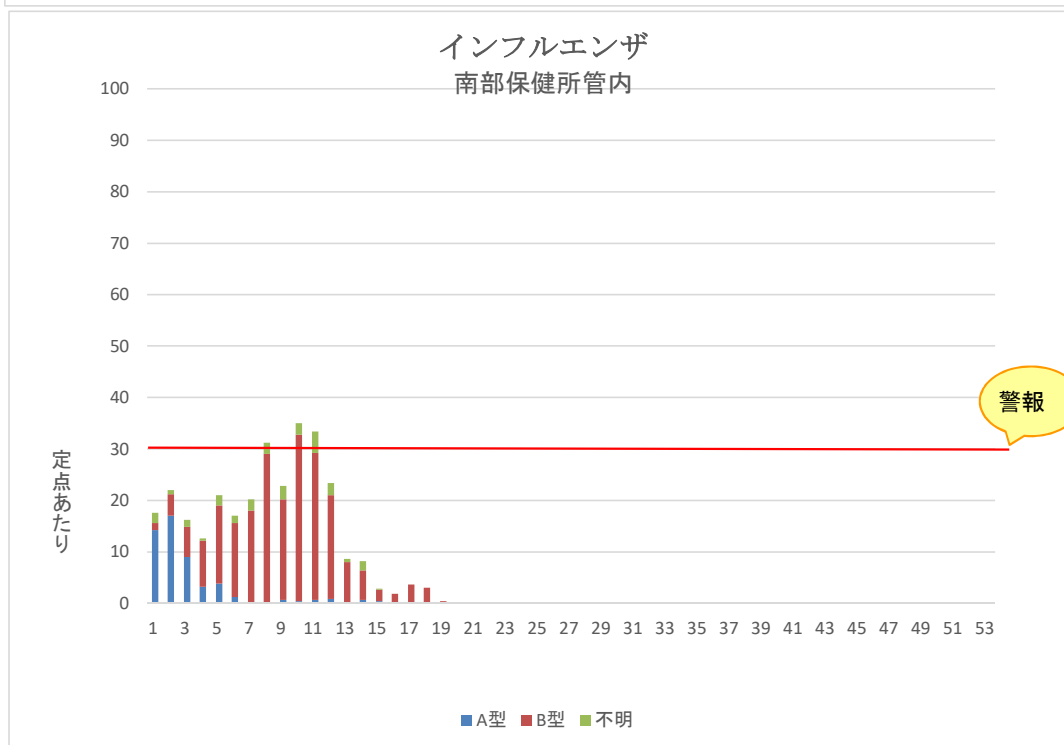
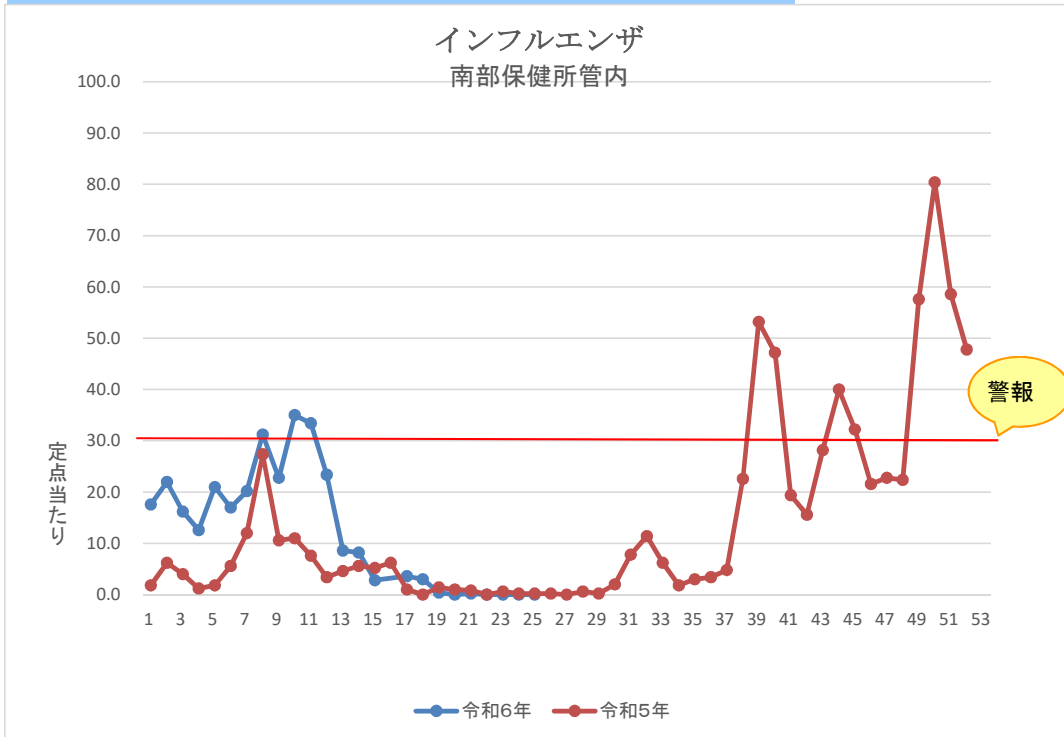
Eメール a12085@pref.oita.lg.jp

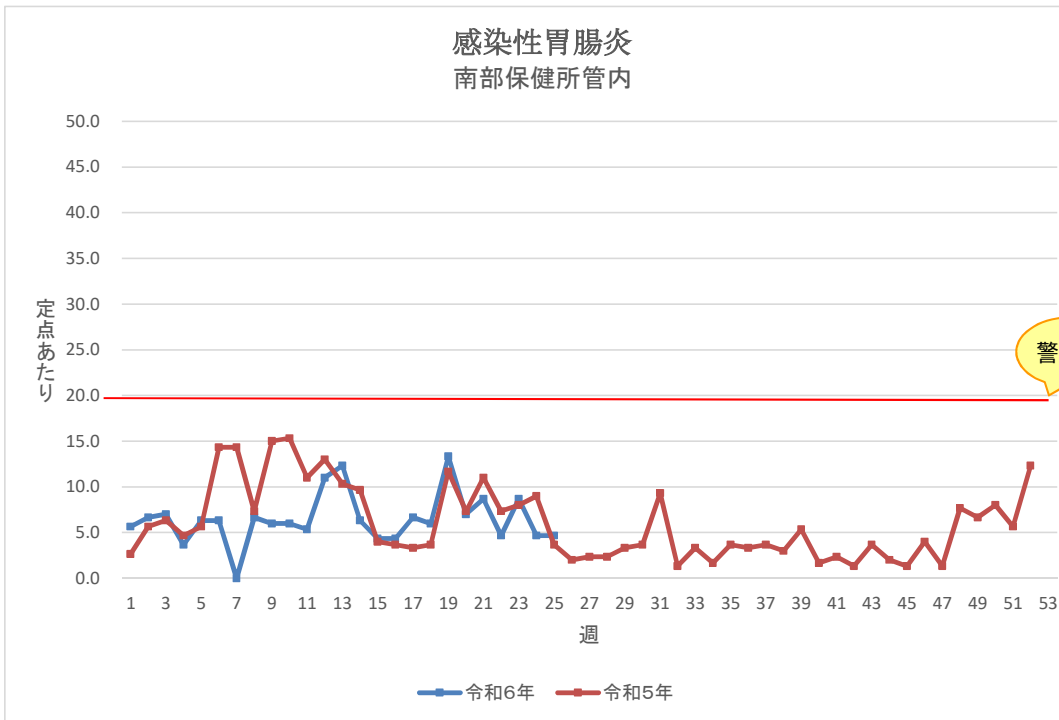
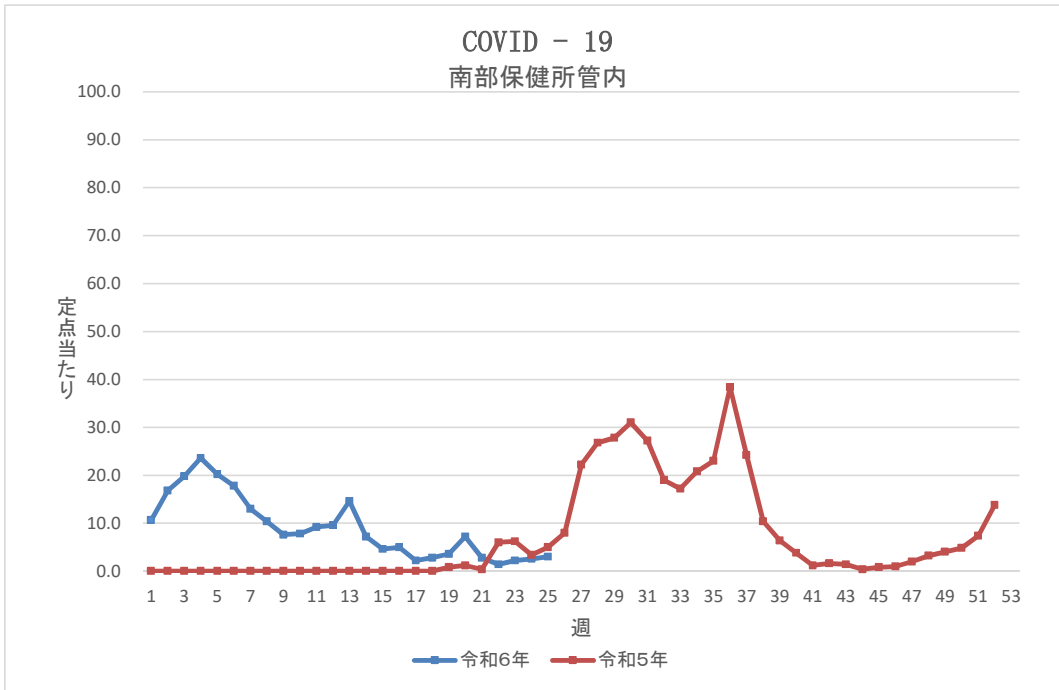
FAX 0972-25-0206

新型コロナウイルス感染症の定点報告結果

週	期間			報告数	定点あたり
1	1/1	～	1/7	53	10.60
2	1/8	～	1/14	84	16.80
3	1/15	～	1/21	99	19.80
4	1/22	～	1/28	118	23.60
5	1/29	～	2/4	101	20.20
6	2/5	～	2/11	85	17.00
7	2/12	～	2/18	65	13.00
8	2/19	～	2/25	52	10.40
9	2/26	～	3/4	38	7.60
10	3/5	～	3/11	39	7.80
11	3/12	～	3/18	46	9.20
12	3/19	～	3/25	48	9.60
13	3/26	～	4/1	73	14.60
14	4/2	～	4/8	16	3.20
15	4/9	～	4/15	23	4.60
16	4/16	～	4/22	25	5.00
17	4/23	～	4/29	11	2.20
18	4/30	～	5/6	14	2.80
19	5/7	～	5/13	18	3.60
20	5/14	～	5/20	36	7.20
21	5/21	～	5/27	14	2.80
22	5/28	～	6/3	7	1.40
23	6/4	～	6/10	11	2.20
24	6/11	～	6/17	13	2.60
25	6/18	～	6/24	15	3.00
26	6/25	～	7/1		
27	7/2	～	7/8		
28	7/9	～	7/15		
29	7/16	～	7/22		
30	7/23	～	7/29		
31	7/30	～	8/5		
32	8/6	～	8/12		
33	8/13	～	8/19		
34	8/20	～	8/26		

グラフで見る佐伯地域の感染症発生状況





疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
百日咳	1.0	0.1	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0
急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—
流行性角結膜炎	8.0	4.0	—

なお、基準値はすべて定点当たりの値です。また注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。